



# 菊武学園フラッシュニュース

## 名産大ウエイト2選手活躍 全日本学生個人選手権



名古屋産業大学ウエイトリフティング部 67 kg級の井田龍吾選手（3年）=写真上は、11月6、7日に大阪府で開かれた全日本学生個人選手権で優勝しました。女子 59 kg級の斎藤陽（みなみ）選手（4年）=写真中央は、2位となり、スナッチでは 85 kgの大会新を樹立しました。



今大会は全国ランキングが10位以内しか出場できない、重要試合。強豪を相手に、井田選手はスナッチ 109 kg（1位）、C&ジャーク 133 kg（2位）、トータル 242 kgで堂々たる優勝でした。

斎藤選手はスナッチで、9月の西日本学生選手権での大会新記録をさらに上回る成績でした。

西日本学生選手権でも井田選手、斎藤選手の2人と、81 kg級の柳川友章選手（4年）=写真下の3選手が、いずれも優勝しました。新型コロナのまん延で、3選手とも自宅練習などとなり、夏以降になってようやく本格的な練習を再開するハンデを背負っての健闘でした。



## 菊華高卒業後 台湾留学 学科成績トップで奨学金



奨学金授与の永田さん=右から2人目

奨学金を贈られました。永田さんは同大の野球チームで活躍しています。野球部監督は「チームで初の学業トップ」と頑張りたたえています。

菊華高校を2019年に卒業し、国立台湾体育運動大学に留学している永田颯太郎さん（2年）は、所属する運動競技学科の今学期学業が第1位となり、

### 部活動・レコード・記録

- ◆名産大ボウリング部 東海地区3人チーム選手権 学生部門 Aチーム準優勝 Bチーム3位
- ◆菊華高女子ソフトテニス部 愛知県高校新人大会団体戦 準優勝

## 名古屋産業大学に経営専門職学科 来春 日本で初めて新設 文科省が認定

名古屋産業大学に「経営専門職学科」（定員40名）が、令和3年4月から新設されます。日本で初めて専門職学科の誕生。名産大の新学科開設は17年ぶりです。



文部科学省から10月26日、学校法人菊武学園の高木弘恵理事長宛に、専門職学科開設の認定書（10月23日付け）が届きました。

経営専門職学科の誕生で、現代ビジネス学部は2学科制となります。デジタルデータを駆使し高度な実践力を身に付け、地域社会や企業経営の中で事業の価値創造に貢献できる人材を養成します。学科長には、矢野昌彦教授が就任します。

実務経験の豊富な教員による実践教育が組み込まれ、産業界とタイアップして600時間の隣地実務実習（インターンシップ）を必修科目とするのが、他の大学にはない大きな特徴です。一貫して職業教育をベースに人材育成を目指してきた菊武学園は、より実践教育を拡充することになります。

専門職大学は2019年、文科省が提唱した新たな大学制度で、企業の中核となる実践力を身に付けます。



認定書を手にする高木理事長



募集のチラシを配布

## With コロナで文化祭 菊華高、菊専、NWFB



首里城の模型を製作



キャップアートを展示



ゲームキャラクターに扮し

With コロナでも情熱を——菊華高校、菊武ビジネス専門学校、名古屋ウエディング&フラワービューティ学院では10月下旬、相次いで文化祭を開催し、生徒達のアイデアいっぱいの展示や模擬店が並びました。

菊華高校では焼失した首里城を模型で復元。菊武ビジネス専門学校は全生徒がキャップアートパネルを制作。NWFBでは、模擬店が並び、ベストドレッサー賞も表彰しました。

**菊武学園エコキャップ回収  
今年度10月末実績約20万個  
累計約685万個に達しました**

## 尾張旭市の災害時 名産大のドローン活用

災害時に研究用ドローンを役立ててもらおうと、名古屋産業大学は11月13日、尾張旭市と「小型無人機による情報収集の協定」を結びました。



協定式でドローンを手にする森市長（中央）

締結式には、尾張旭市の森和実市長と高木弘恵学長が互いに協定書に署名しました。自然災害が起きた時、人が立ち入ることのできない現場の状況をすばやく把握をするために、名産大がドローンや操作員を派遣して役立てることをうたっています。

岡村聖教授らを中心とする環境経営研究所のメンバーらは日頃、二酸化炭素濃度測定などの研究にドローンを活用しています。

また「社団法人災害対策建設協会 JAPAN47」（本部・愛知県弥富市 岸本大知代表理事）もこの日、尾張旭市とドローン協定を結びました。建築現場などで使っているドローンを、やはり尾張旭市の災害時に役立てるといえるものです。